

令和 8 年 1 月 22 日市長定例記者会見 会見録

◆司会

それでは、ただいまから、本日の市長定例記者会見を始めさせていただきます。
よろしくお願いいたします。

◆市長

はい、よろしくお願いいたします。

◆司会

本日は、市からの発表はありませんので、幹事社質問から入りたいと思います。
毎日新聞さん、よろしくお願いいたします。

◆毎日新聞

幹事社の毎日新聞です。よろしくお願いいたします。

明日、衆議院が解散されます。新しい動きの中でしたけれども、この間、他の自治体では首長から、この動きに関してのコメントが出ていたりしましたけれども、難波市長にはタイミング的にも、ご意見を伺う機会がありませんでしたので、今日、直前ではありますが、お考えを聞かせていただきたいと思います。

特に、予算編成が日程上ずれ込むことが指摘されています。そうした中で、特に市民生活への影響がいろんな面で、例えば給付のことですとか、市民に心配を、もっと感じている市民の方もいらっしゃるかと思うので、この日程、解散からの動きの中で、どういう影響が起きるのか、そして、それに対処できるのか、市はこういうことができるのかっていうのを、市民に安心してもらうというか、そういう意味でも、そのあたりのことを教えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

◆市長

はい。まず、衆議院の解散についてですけれども、これは内閣総理大臣の専権事項ですので、いろいろお考えがあっておやりになったことと思いますので、個人的にはいろんな意見ありますけれども、地方公共団体の長として、個別にコメントすることは差し控えておきたいと思います。

解散によって国会審議の日程が大きく変わりますし、それによって 2026 年度予算の年度内成立が困難になると思われます。あるいは遅れが生じると思われますが、それについても、いろんなことで対処していただけていると思っていますので、直ちに市民生活、あるいは市政に影響が出ることはないのではないかなと認識しておりますが、ただ、これは選挙ですので、選挙結果によっては、いろんな、また政治

的な変化が起きる可能性もありますので、それによって国会審議の状況も変わる可能性がありますので、それで、さらに何か市民生活への影響が出る可能性は否定できないと思っていますが、どうなるか分かりませんので、あらかじめそれを考えても、なかなか、なんとも対処しようがないので、申し訳ないですけど、仕方ないと言うしかないかなと思っています。

ただ、長期化した場合には、それについては直ちに市でできることは市でしっかりやっていく必要がありますので、状況を見ながら適切に判断し、直ちに実行するということをしていきたいと思っています。以上です。

◆毎日新聞

はい。ありがとうございます。

◆司会

では、ただいまの幹事社質問に関連したご質問をお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。はい、静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです。よろしくお願いいたします。今回、衆議院の解散、かなりバタバタとした動きがあったと思います。それにつかまして、沼津市では投票用紙が有権者に間に合わない可能性がある、静岡市もそういった事態が懸念されているということですけれども、それについての受け止めをお願いいたします。

◆市長

はい。選挙管理委員会で一生懸命やってくれていますけれども、解散翌日か投票開票日まで16日という、非常に短いわけですので、これについての準備が必要なのですけれども、入場券のお話で言うと、1月28日の水曜日頃から順次お手元に投票所の入場券が届くというような状況だと聞いています。

ただ、入場券がなくても投票できますので、ぜひ投票にお越しいただければと思います。期日前投票も、1月28日の水曜日からは、お住まいの区の区役所で始まりますので、期日前投票もご利用いただければと思います。

それから、1月31日の土曜日には、葵区役所の1階ラウンジで、駿河区・清水区を合わせ、葵・駿河・清水を合わせて期日前投票所ということになりますので、葵・駿河というか、駿河と清水についても、葵区役所の中で開設しますので、駿河区・清水にお住まいの方も、この庁舎の1階の期日前投票所を利用できるということになります。そういったことですので、よろしくお願いいたします。と思っています。

◆静岡朝日テレビ

はい。ありがとうございます。今回の解散に向けて、難波市長が特定の候補を応援されるご予定があるのか、また、応援に入らないにしても、為書きなどを書く予定はあるか、また候補予定者から応援の依頼などが来ているか、3点お願いいたします。

◆市長

はい。応援については、為書きという話がありましたけれど、為書きの依頼も来ておりませんので、書く予定は今のところありませんが、まだ選挙始まっていませんので、あるかもしれませんが、あまり、今回特定の候補を応援するということはないつもりですので、為書きも特に書かない予定にしています。

◆静岡朝日テレビ

私から、最後に。特定の候補を応援しないっていうのは、こういった理由からでしょうか。例えば、ちょっと前のことを遡りますと、知事選挙のときは、難波さん、大村さんのところに、友達だからという理由で行かれたと思うのですが、どうでしょう。今回は。

◆市長

友達ですから出かけましたけれど、明確な応援という形も申し訳ないですけど無かったわけありますので、とりわけ、今いろんな国政の動きがありますけれども、皆さん一生懸命おやりになっていますので、それについて私が特にどなたかということはない、ずっと選挙で特定の候補を応援するということはほとんどしないというのが基本的な自分の考えですので、今回もそういうことだと、そういう方針で繋がたいと思います。

ただ、聞かれてないのですが、やはり政策は中長期的なことを考えてしっかりと取り組んでいただければと思っています。短期的なものではなくて、やはり今、日本がこういう状況に置かれているというのは、中長期的なしっかりした取り組みが行われてこなかったという、これは静岡市政、国政にだけ言うわけではなくて、やはり短期的な取り組みではなくて、中長期的な成長戦略を踏まえて、例えば所得をしっかりと向上させるとか、それと財源もしっかりした上で福祉の向上ということが必要ですので、そういう中長期的に日本経済、日本社会の明るい未来があるような政策を、ぜひ打ち出していただければと思っています。以上です。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございました。

◆SBS

その他、幹事社質問に関連したご質問、はい、SBS さん、お願いいたします。

◆SBS

SBS テレビです。よろしくお願いします。今回の衆院選の争点の中に、消費税の減税があるのですけれども、与野党それぞれ減税を打ち出している中で、与党は食料品 2 年間なしという話も上がっていますが、難波市長、この消費税の減税についてはどのように考えられていますか。

◆市長

あまり国政の、具体的にどの政党ということは申し上げませんが、私は消費税の減税には賛成しておりません。もうちょっと正確に言った方がいいですけれども、財源が明らかにされていない状態での消費税減税というのは、適切ではないと思います。

消費税は福祉に回っている部分が非常に多いわけで、消費税の減税によって、消費税の減税の効果は出ますけれど、今度は、逆にそれによって財源が不足することによって、どこにどういった影響が出るのかということが非常に大事で、減税効果だけを表に出して、減税をした結果、財源が不足することによって、どこにどういった影響が出るのかというような分析なしに減税だけを進めるとするのは、私は適切ではないと思っています。

ですから、もう一度言い直しますと、消費税減税が悪いというのではなくて、財源の確保、代替財源の確保がない形、とりわけ福祉への代替財源がない形での消費税減税というものを、進めるべきではないと思っています。

消費税減税するのであれば、やはり代替財源をどうするのかというところをしっかり示すということが、これは政治の責任だろうと思っています。以上です。

◆SBS

ありがとうございました。

◆司会

その他、幹事社質問に関連したご質問ということで、はい、NHK さん、お願いいたします。

◆NHK

NHK です。最初の幹事社質問に関連してですけれど、2026 年度の予算の年度内成立が難しくなっている中で、静岡市も今、新年度の予算を組まれていると思い

ますが、そこには当然、国の補助金等を活用した事業等も考えられていると思いますが、そちらについての影響や、もしくはその予算の組み立てへの支障、そういったものがあれば、改めてお伺いしてもよろしいでしょうか。

◆市長

はい。これが何日ぐらい遅れるのかというところ、新年度予算の成立が何日ぐらい遅れるのかというところは、ちょっと明確になっていませんので、今の状態でその影響の程度を測るのは厳しいと思っておりますが、順調にというのは変な言い方ですけれども、審議が進めばそれほど大きな、新年度予算の成立が遅れるということではなくて、その間にはいろんな予算を組んで、自主的に予算を組んで繋いでいくということでもありますので、影響を最小限にさせていただく努力を国においてはしていただければ、影響はそれほど大きくないのではないかなと思っておりますが、逆に言いますと影響が大きくないように、ぜひぜひ配慮をしていただきたいと思っております。

◆NHK

ありがとうございます。

◆司会

その他、いかがでしょうか。

それでは、事社質問以外の質問があれば、お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。はい、静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆朝日テレビ

朝日テレビです。すいません。リニア関連について伺います。昨日、生態系への影響を話し合う県の専門部会が開かれまして、影響の予測など3つの項目で対話が完了しまして、残る課題が12項目となりました。リニア問題に関しての項目などが少しずつ完了している中で、かなり進捗が見られると思うのですが、リニア問題の進捗について難波市長はどのようにお考えでしょうか。

◆市長

はい。この問題は、県と市が連携してやっていると認識しております。連携というのは、環境影響評価の対象になっているところは、自治体ですね、方法書が送られてきて、法律に基づいて環境影響評価に対して意見を述べる対象の場所というのは、自治体というのは静岡県と静岡市、この2つになっていますので、静岡市は地先のリニアが通る、その地域の自治体ということになっていますので、そういった

点で県と市がしっかりとやっていかないと、法律に基づいては直接の利害関係ということになるわけで、とりわけ生態系の問題については、まさに静岡市域の、市の範囲の中で行われるもの、影響が出るものですから、それは静岡市としても、しっかりと主体的になって取り組んでいく必要があると思っています。

ただし、これは県も同じですので、県と市が別々のことをやっても、これは無駄になりますから、そういった点で県と市が連携をして、しっかりとした評価をしていくのが大事だと思っています。そういった点で、それぞれ専門部会であったり、市は協議会であったり、そういうところでやっているわけですがどれも、一つひとつ丁寧に問題を分析して、そして、対処していると認識しております。

例えばですけれども、これはかねてから私自身もずっと、静岡市長として問題視をしておりましたけれども、千枚岳の付近に地下水を湧出するところがあって、地下から水が湧出てくるところがあって、その辺りが非常に豊かな生態系、高山の中では非常に豊かな生物層があるわけですが、その影響について、当初のJR東海の検討というのは、少し、私からすると少しではなくて、かなり不十分な取り組みだと思っていましたけれども、今回の、昨日行われたものを見ますと、非常に精緻に分析されていますので、やはり、そうやって一つひとつ観測データを取って、それを評価して、影響はあるのかなのか、例えば、千枚岳小屋付近の地下水からの湧出というのは、どういう現象で起きているのだろうかというところを、しっかりと分析して、そして、リニアの影響があるのかなのかというところを評価していくということが大事ですけれども、そういう取り組みが行われていますので、全ての分野において、そうやってしっかりとデータを取ってデータを分析して評価していくという取り組みを、一つひとつの分野でやっていくというのは、これからも大事だと思っています。

かなりの数が検討課題として残っていましたが、一つひとつ潰していくと言いますか、一つひとつ評価をきっちりやっていくということで、かなり数も減ってきましたので、これからも、それを一つひとつ丁寧にやっていくのが大事だなと思っています。

とりわけ、代償措置の問題が、これから重要になってきていますので、生物の代償措置の問題については、静岡市もかねてからずいぶん取り組んでいますので、これから静岡市としても、そのあたりについてはしっかりと取り組んで、静岡市ではこういう検討をしたのでという情報を県に提供して、県でもその評価をしていただきたい、そういうことが大事かなと思っています。

◆朝日テレビ

ありがとうございました。

◆司会

はい。その他、いかがでしょうか。中日新聞さん、お願いいたします。

◆中日新聞

中日新聞です。よろしくお願いします。2問伺いたいのですが、まず1問目が、東京赤坂の個室サウナ店で夫婦が昨年死亡した火災を機に、厚生労働省が、今月14日付で全国の自治体に対して、サウナの施設数であったり、非常用ブザーの有無などの安全管理状況を調査するよう通知を出しました。

静岡市では、すでに実態把握調査を昨年末から行って動き出していると伺っていきまして、これは市内のサウナ数の把握の意味合いもあると伺っております。施設からの回答期限が今月中旬に締め切っていると伺っていますけれども、調査結果について、いかがだったでしょうか。

◆市長

はい。市は、国からの通知が来るよりも、いち早く独自に調査を始めておりましたけれども、その調査結果は、もうまとまっていると思いますけれども、申し訳ないですけれども、私は把握をしておりません。

おそらく問題があれば、こういう問題がありましたということで報告が上がってくるとしますので、今まで調査した中では、問題はなかったのではないかなと思っていますけれども、ただ、実際に問題がなかったかどうかちょっと確認していませんので、改めて調査結果については、お知らせしたいと思います。

◆中日新聞

ありがとうございます。もう1問が、第4次総合計画の策定で伺います。今月15日に、市議会3会派から申し入れがありました。市はこの計画、4次総の見直しを今、進めている途中でしたけれども、申し入れでは大幅な内容変更というのが、見直しの範疇じゃなくて、4次総という名前のままでは市民がかえって違和感を覚えるという内容で、新たな総合計画としての策定を求めています。

市長として、今回の提言を受けて、4次総ではなく、新たな総合計画として策定したいお考えはありますでしょうか。

◆市長

はい。三会派からの合同での申し入れでしたので、これは今、検討しているところですけれども、まだ決定をしていない、具体的に言うと、4次総の見直しなのか、新しい総合計画にするのかというのは決めていませんが、2月6日に市議会に対して4次総であるとか、大型公共事業について説明する時間が今、設定されています

ので、その辺りで説明をすることになるのではないかなと思います。

場合によっては、今度は2月17日でしたっけ。2月17日に、そのときは予算の説明になりますので、その段階で4次総をどうするのか、名前も含めて発表することになるかもしれません。

2月6日か、2月17日かどちらかで判断したい、最終決定をしたものを発表したいと思っています。

◆中日新聞

2月6日の市議会への説明というのは、いつもやっている議員さんへの予算説明ではなくて、また別途で大型事業について特化して説明するというのでしょうか。

◆市長

そうですね。議会からの要請があって、4次総についての説明と、それから大型公共事業に関する、ごめんなさい、大型…なんてなっていましたかね。ちょっと名前を忘れました、大型投資事業だったかもしれませんけれど、それについての説明を求められていますので、それについて説明し、単に説明ではなくて意見交換、あるいは対話をする、政策対話をするという時間と考えていますので、そこでお話をしたいと思っています。

そこを踏まえて決めることになるかもしれません。というのは、今あるのは三会派からのお話でしたけれども、まだ全会派から、あるいは一人会派の方も含めて全会派からお話をしているわけではありませんので、その、いきなり議会への説明の場で、いきなり変えるとか変えないとかという判断をすべきではないかもしれませんので、その辺りはちょっとまた考え中というところです。

◆中日新聞

その説明の場は、ちなみに公開で行われるのでしょうか。

◆市長

公開だと思います。ちょっと確認をすぐしてみてください。

◆中日新聞

はい。ありがとうございます。

◆市長

おそらく議会と対話することを公開しないということはありませんと思いますので、公開だと思います。

◆中日新聞

ありがとうございました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。はい、静岡第一テレビさん、お願いいたします。

◆静岡第一テレビ

静岡第一テレビです。よろしくお願いします。JR清水駅東口の土地に関する協議についてですけれども、前回の会見で2月頃に若干ずれ込むのではないかとお話をしましたけれども、現状の対応の状況であったり、何かお話できることがあれば、よろしくお願いします。

◆市長

はい。現状も以前申し上げたのと同じで、2月の初め、10日ぐらいまでには何とか決めたいと思っておりますが、まだ先方と協議中ですので、最終結論が出ていませんので、現時点では、まだ協議中としか言えない状況です。

ただし、先ほど申しましたように、予算が、2月17日が記者発表の日ですので、そのときまでには決めないといけませんので、遅くとも2月10日ぐらいまでには、最終決定に持ち込んでいきたいと思っています。それでないと、新年度予算に盛り込むことができませんので、そこまでには決めたいと思いますが、ただ、サッカースタジアムを新設するかどうかという決定ではなくて、今最初に行うべきことは、清水駅の東口の用地が使えるようになるかどうかということです。14ヘクタールという土地が使える土地、スタジアムというよりも、地域づくりの用地として使えるような状態になるかどうかという決定が、最初にありますので、その意思決定を、まずは発表するということになります。

その上で、スタジアムの取り扱いについても何らかの形で話をするということになります。以上です。

◆静岡第一テレビ

ありがとうございます。

◆司会

はい。その他、いかがでしょうか。静岡朝日テレビさん、お願いいたします。

◆静岡朝日テレビ

静岡朝日テレビです。第一テレビさんの質問に関連して、ちょっと一点確認なので

すけど、協議中ということですから、土地を取得する場合は、だいたいどれくらい取得したいお考えなのか、また費用はだいたい見積もりとかは出ていますでしょうか。

◆市長

はい。それは今、最終協議中というのは、どの場所を、どのくらいの面積で、いくらで購入するかというところがポイントになりますので、その最終協議中ということになります。

これについては、最終決定が下りるまで、両方で最終決定をするまでは、まだ動く可能性がありますので、現時点では数値については、何も申し上げられないという状況です。

◆静岡朝日テレビ

ありがとうございました。

◆司会

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の定例記者会見を終了させていただきます。

◆市長

はい。どうもありがとうございました。

◆司会

ありがとうございました。次回は、2月2日、11時からの予定となります。

よろしくお願いいたします。